テクミラホールディングス株式会社
東証スタンダード：3627

2026 年 11 月 17 日

ネオスの AI エージェント【OfficeAI 社員】、専門領域の複雑な質問にも対応する新機能「DeepReads モード」をリリース

～情報を「探す」から「深く読み解く」へ。AI によるナレッジ活用をさらに高度化～

テクミラホールディングスの子会社であるネオス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：池田 昌史、以下 ネオス）は、企業内に蓄積された資料やナレッジを活用し、情報検索や調査、問い合わせ対応などを支援する AI エージェントサービス【OfficeAI 社員】の Pro プランにおいて、高度な情報解析や推論を可能にする独自のアーキテクチャを実装した「DeepReads モード」を提供開始いたしました。

OfficeAI社員™



情報を深く読み解き、専門業務への活用を広げる「DeepReads モード」

これまで【OfficeAI 社員】は、独自の RAG（検索拡張生成）技術により、膨大な社内資料から質問に関連する情報を正確かつ網羅的に「探し出す」ことに強みを持ち、情報検索や問い合わせ対応など、さまざまな業務で活用されてきました。

一方、近年では製造業、インフラ、製薬、流通、行政・官公庁などの専門領域を中心に、業界特有の文脈や図解を含む資料など、より高度な読み解きを必要とする情報の活用が増えています。こうした資料では、必要な情報を見つけるだけでなく、質問に応じて資料全体の文脈や前提条件、複数の情報の関係性まで捉えながら読み解くことが求められます。従来の RAG では、あらかじめ作成した索引をもとに情報を検索し、回答までを生成するため、登録時に想定していなかった観点からの質問や、資料に明示されていない関係性まで柔軟に読み解くことには限界がありました。

そこで、膨大な情報から必要な資料を探し出す RAG の検索と、質問に応じて資料を直接読み解く一連の処理を AI が自律的に実行するための「エージェントハーネス※」を独自に設計し、実装した新機能が「DeepReads モード」です。検索のための“索引”を、AI エージェントが質問に応じて必要な資料を特定し、深く読み解くための“地図”として活用することで、情報の探索から解析・推論、根拠確認までを一連のプロセスとして実行します。これにより、資料から単に関連する情報を「探す」だけでなく、質問の観点から情報の文脈や関係性まで AI が深く「読み解き」、横断的な情報収集や調査、問い合わせ対応など、高度な情報探索・判断を伴う業務の効率化を支援します。

※エージェントハーネス：AI モデルに多段階のタスクを自律実行させるための「制御の仕組み」。計画立案、ツールの使い分け、作業記憶の管理、結果の検証などを担う



＜主な特徴＞

①　高解像度な索引で、読み解くべき情報を的確に特定

マルチモーダル AI 技術により、文章だけでなく図表や画像に含まれる情報も認識します。これにより、検索対象となる情報を充実させるとともに、質問に対して AI エージェントが読み解くべき資料や箇所を的確に絞り込みます。

②　質問の観点から資料を読み直し、文脈や条件まで踏まえた回答へ

検索結果をそのまま回答に使用するのではなく、質問の内容と照らし合わせながら、資料の文脈や前提条件、情報同士のつながりまで踏まえて解析します。専門資料をより正確に読み解き、複数の情報を関連付けながら、質問の意図に即した回答を導き出します。

③　検索・推論・検証を繰り返し、難度の高い質問や調査にも対応

検索・推論・根拠確認の一連の処理を制御する「エージェントハーネス」により、必要に応じて再検索や比較、推論などを実行。一度の検索では答えにたどり着けない複雑な質問や複数資料を横断する調査にも、根拠となる情報を確認しながら適切な回答につなげます。

ネオスでは今後も、【OfficeAI 社員】における継続的な性能向上への取り組みを通じて、企業の生産性向上とナレッジ活用を支援してまいります。

【OfficeAI 社員】について

【OfficeAI 社員】は、企業が保有する社内資料やナレッジを活用し、ユーザーからの質問への回答や情報検索、調査などを支援する AI エージェントサービスです。

複数のエージェントを連携させる「マルチエージェントシステム」により、AI が自律的に「役割設定・計画・実行・記憶」のプロセスに沿って業務を遂行します。これにより、曖昧な質問にはユーザーへの追加ヒアリングを行い、最適な回答に導いたリ、情報検索におけるクエリの最適化やアルゴリズムの切り替え、社内ナレッジとインターネット情報の統合など、従来は人が担っていた問題解決プロセスを AI が代替することが可能です。



サービス詳細はこちら： https://officebot.jp/

≪ネオスの AI ソリューション事業のご紹介≫

【OfficeAI 社員】をはじめ、最先端の技術や独自の AI エンジンなどを組み合わせることで、企業や自治体に最適な AI ソリューションをご提案いたします。

AI ソリューション事業についてはこちら ： https://ss.neoscorp.jp/solution/ai/

＜テクミラホールディングスについて＞

【商　号】テクミラホールディングス株式会社
【本　社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1　住友不動産神田ビル 2 号館 10F
【上場市場】東京証券取引所　スタンダード市場　（証券コード：3627）
【代表者】池田　昌史
【ＵＲＬ】https://www.tecmira.com
【グループ事業内容】
◆ライフデザイン事業
ゲームの開発・販売やキッズ向け知育サービス等コンシューマ向けビジネスの展開、HealthTech、FinTech、EdTech、HRTech 等 Tech サービスの提供
◆AI&クラウド事業
AI チャットやクラウドアドレス帳などの SaaS と、AWS 等を活用した Tech ソリューションを提供
◆IoT&デバイス事業
Edge IoT やタブレット PC 等の ICT 製品等の開発・製造、カスタマーサポート業務受託

＜ネオスについて＞

【商　号】ネオス株式会社
【本　社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1　住友不動産神田ビル 2 号館 10F
【ＵＲＬ】https://www.neoscorp.jp
【代表者】池田　昌史
【事業内容】情報通信サービスおよびソフトウェア、コンテンツ開発

＜このニュースリリース・素材の提供に関するお問合せ先＞

テクミラホールディングス株式会社
担当：　経営企画部　広報チーム
Email：info@tecmira.com
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町 1-23-1　住友不動産神田ビル 2 号館 10F
https://www.tecmira.com

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標